

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	厚生労働科学研究費補助金	事業開始年度	昭和26年	作成責任者		
担当部局庁	大臣官房	担当課室	厚生科学課	塚原 太郎		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働科学研究費補助金取扱規程 (平成10年4月9日厚生省告示第130号)	関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第3期科学技術基本計画」(平成18年3月28日閣議決定)</li> <li>「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成20年10月31日内閣総理大臣決定)</li> </ul>			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。(補助率10/10)					
実施状況	平成21年度は、4分野14の研究事業で1594課題の研究が実施された。 近年は特に、健康安心の推進、健康安全の確保及び先端医療の実現に資する研究を推進しており、具体的な事例として、がんの革新的予防・診断・治療法の開発に関する研究や、生活習慣病対策、難病対策、肝炎対策等の推進に関する研究を実施しているところである。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	42,475	42,666	47,785	47,462	38,228
	執行額	42,244	42,556	47,410		
	執行率	99.5%	99.7%	99.2%		
	総事業費(執行ベース)	42,244	42,556	47,410		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先や用途については、各研究者の所属機関において、納品書や領収書等の証拠書類の保存、収支簿への記帳等を行うことを義務づけるとともに、無駄な経費の支出をおこなわないよう周知する等、適切な事業の実施及び支出に努めている。				
	見直しの余地	今後も引き続き、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図る必要がある。なお、厚生科学審議会において、今後のあり方について検討していただくとともに、省内において「厚生労働省の研究助成等のあり方に関する省内検討会」を開催し、必要な見直しを行うこととしている。				
予算・監視の効率	<p>一部改善(事業の優先度を勘案し縮減)</p> <p>各研究事業について、より必要性の高い疾患に研究費の重点的な配分ができるように努力し、全体的な効率化を図ること。</p>					
補記						

厚生労働省  
47,410百万円

A 個人(1545課題) 41,167百万円

(内訳) 上位10課題への支出先

研究者A	650百万円
研究者B	600百万円
研究者C	600百万円
研究者D	468百万円
研究者E	410百万円
研究者F	347百万円
研究者G	315百万円
研究者H	281百万円
研究者I	260百万円
研究者J	181百万円

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

B 法人(49課題) 6,243百万円

(内訳) 上位10課題への支出先

社団法人日本医師会	1,137百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	735百万円
(政策創薬総合研究事業分)	
財団法人国際協力医学研究振興財団	596百万円
財団法人がん研究振興財団	457百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	392百万円
(政策創薬総合研究推進事業分)	
財団法人エイズ予防財団	361百万円
財団法人日本腎臓財団	250百万円
財団法人精神・神経科学振興財団	190百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	182百万円
(ヒトゲノムテーラーメイド研究推進事業分)	
財団法人日本対がん協会	177百万円

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.研究者A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	研究機器等	180			
間接経費	研究機関の管理費等	150			
消耗品費	試薬、事務用品等	142			
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	105			
人件費	研究協力者への各種手当等	68			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	5			
計		650	計		0
B.社団法人日本医師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	447			
間接経費	研究機関の管理費等	240			
消耗品費	試薬、事務用品等	198			
旅費	国内旅費及び外国旅費	48			
賃金	研究補助等を行う者への賃金	45			
人件費	研究協力者への各種手当等	36			
諸謝金	研究協力者への謝金	23			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	99			
計		1136	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	厚生労働科学研究費補助金	事業開始年度	昭和26年	作成責任者		
担当部局庁	大臣官房	担当課室	厚生科学課	三浦 公嗣		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働科学研究費補助金取扱規程 (平成10年4月9日厚生省告示第130号)	関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第3期科学技術基本計画」(平成18年3月28日閣議決定)</li> <li>「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成20年10月31日内閣総理大臣決定)</li> </ul>			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厚生労働行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施するため、国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。(補助率10/10)					
実施状況	平成21年度は、4分野14の研究事業で1594課題の研究が実施された。 近年は特に、健康安心の推進、健康安全の確保及び先端医療の実現に資する研究を推進しており、具体的な事例として、がんの革新的予防・診断・治療法の開発に関する研究や、生活習慣病対策、難病対策、肝炎対策等の推進に関する研究を実施しているところである。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	42,475	42,666	47,785	47,462	—
	執行額	42,244	42,556	47,410		
	執行率	99.5%	99.7%	99.2%		
	総事業費(執行ベース)	42,244	42,556	47,410		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	専門家によって構成される評価委員会において、各研究について事前評価・中間評価・事後評価を実施している。事前評価では、厚生労働行政にとって真に必要な研究課題を厳選することにより効果的な資金配分に寄与し、中間評価では研究結果が施策に反映されるように適切な助言等を行い、事後評価では研究の達成・未達成の確認、以後の評価での活用、以後の研究事業の企画・実施への活用などを行っている。				
	見直しの余地	今後も引き続き、評価委員会を開催し、各研究事業の適切かつ効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行を図る必要がある。なお、厚生科学審議会において、今後のあり方について検討していただくとともに、省内において「厚生労働省の研究助成等のあり方に関する省内検討会」を開催し、必要な見直しを行うこととしている。				
予算監視の所見率						
補記						

厚生労働省  
47,410百万円

A 個人(1545課題) 41,167百万円

(内訳) 上位10課題への支出先

研究者A	650百万円
研究者B	600百万円
研究者C	600百万円
研究者D	468百万円
研究者E	410百万円
研究者F	347百万円
研究者G	315百万円
研究者H	281百万円
研究者I	260百万円
研究者J	181百万円

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

B 法人(49課題) 6,243百万円

(内訳) 上位10課題への支出先

社団法人日本医師会	1,137百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	735百万円
(政策創薬総合研究事業分)	
財団法人国際協力医学研究振興財団	596百万円
財団法人がん研究振興財団	457百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	392百万円
(政策創薬総合研究推進事業分)	
財団法人エイズ予防財団	361百万円
財団法人日本腎臓財団	250百万円
財団法人精神・神経科学振興財団	190百万円
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	182百万円
(ヒトゲノムテラーメード研究推進事業分)	
財団法人日本対がん協会	177百万円

厚生労働科学研究の実施に必要な研究費

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.研究者A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	研究機器等	180			
間接経費	研究機関の管理費等	150			
消耗品費	試薬、事務用品等	142			
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	105			
人件費	研究協力者への各種手当等	68			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	5			
計		650	計		0
B.社団法人日本医師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	モニタリング、監査等の業務委託	447			
間接経費	研究機関の管理費等	240			
消耗品費	試薬、事務用品等	198			
旅費	国内旅費及び外国旅費	48			
賃金	研究補助等を行う者への賃金	45			
人件費	研究協力者への各種手当等	36			
諸謝金	研究協力者への謝金	23			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	99			
計		1136	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0